



新教出版社 出版通信

2019年
3月

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 Fax: 03-3260-6198
ホームページ: <http://www.shinkyo-pb.com>

今を生きる滝沢克己

生誕110年記念論集

滝沢克己協会 編

◆四六判・294頁・本体3200円

2月25日発売



滝沢克己。一九〇九―八四年。

一高から東京帝大法学部に進んだが直ちに退学。
九州帝国大学哲学科に転ず。卒業後、ボン大学で
カール・バルトに師事。山口高等商業学校教授を
経て九州大学教授となる。大学闘争では全共闘を
支持して辞職。独自のインマヌエル思想を唱え、
その影響は「滝沢神学」として国内はもとより海
外にも及んだ。一六人の論者が多様な視点からそ
の思想の全貌に迫り、継承の方途を考える。

▼関連書

カール・バルトⅡ 滝沢克己往復書簡

1934―1968 ◆280頁・本体2700円

緊張関係をはらみながらも、深い信頼関係に結ばれ、
30年以上にわたり師弟の交わりを保ったバルトと滝
沢。二人の興味尽きない81通の書簡。

【目次より】

- | | | |
|----|-------------------|------|
| 1 | 滝沢克己のヒューマニズム哲学 | 白井雅人 |
| 2 | 公共哲学の視点から | 稲垣久和 |
| 3 | 滝沢神学と天皇制 | 内藤 酬 |
| 4 | 労働の二重性から人間存在の二重性へ | 鈴木 典 |
| 5 | 〈究極の真理〉を求めて | 前川 博 |
| 6 | 滝沢克己と内村鑑三 | 小林孝吉 |
| 7 | 滝沢克己と聖書 | 水田 信 |
| 8 | 滝沢克己の洗礼に対する再考察 | 金 珍熙 |
| 9 | 滝沢思想からの学び | 堀内隆治 |
| 10 | 滝沢哲学において物とは | 森松睦雄 |
| 11 | ハイデッガーと滝沢克己 | 芝田豊彦 |
| 12 | 滝沢哲学から「意味なき生」を考える | 吉岡剛彦 |
| 13 | 「原点」のコンティンジェンシー | 丹波博紀 |
| 14 | 手に余りながら付き合いは続く | 最首 悟 |
| 15 | 読解の座標を求めて | 佐川愛子 |
| 16 | 今あらためて考えること | 植村光一 |

●新作教科書2点同時刊行！

希望する力 生き方を問う聖書

佐原光児 著

◆A5判・156頁・本体1300円

2月25日発行



希望も訓練である

虚無や諦めを乗り越えさせるものが希望だ。しかし希望とは、見えないものを捉えていく力だから、いつも簡単に持てるようなものではない。希望を持つこともまた訓練が必要なのである。本書は、そうした「希望する力」を鍛える一助となるために書かれた。とりわけ進路や友情に悩むことが多い若者や、若者と向き合うことが多い教師たちに勧めたい。

さはら・こうじ氏は1978年生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士前期課程修了後、日本基督教団霊南坂教会、アメリカ合同教会シカモア組合教会（カリフォルニア州）において牧師として働く。在米中に太平洋神学校（Pacific School of Religion）にて牧会学博士（Doctor of Ministry）を取得。現在、明治学院高等学校聖書科教諭。

新たな約束 新約聖書に学ぶ神の招き

後藤田典子 著

◆A5判・156頁・本体1300円

2月25日発行



聖書から何を聞くのか

中学3年生を想定した教科書。

長年金城学院中学校で教鞭をとってきた著者の経験を存分に生かした新約聖書入門。

単なる知識の教授にとどまらず、新たな価値観に基づく生き方を共に考える。

既刊 ジュニアのための聖書入門 ◆A5判・本体800円

ごとうだ・のりこ氏は1955年東京生まれ。自由学園卒。東京YMCA奉職後、東京神学大学・修士課程修了。横須賀学院を経て、現在金城学院中学校宗教主事。

新教出版社編集部編

統べるもの／叛くもの

統治とキリスト教の
異同をめぐる

身体にたいする統治の原型であり、統治に叛く力能でもあるというキリスト教の二律背反をめぐり、佐々木裕子・堀江有里・要友紀子、白石嘉治・栗原康・五井健太郎、気鋭の論者が大胆に語りあう。

◆四六判・予価2000円

佐藤司郎著

カール・バルトとエキュメニズム

一つなる教会への途 青年期からドイツ教会闘争を経て晩年にいたる長い神学的展開において、エキュメニズムに対する姿勢はどのように変化したのか。テキストの綿密な読解を通して明らかになるバルトの中心思想。類書に乏しいテーマにおける貴重な貢献。

◆A5判・予価3800円

岡田聡著

ヤス・パースとキリスト教

二〇世紀ドイツ語圏のプロテスタント思想史において、ブルトマン、ブーリ、ティリツヒなどとの折衝を通して明らかになるヤス・パースとキリスト教の近さと遠さ。

◆四六判・予価2500円

関口安義著

評伝 矢内原忠雄

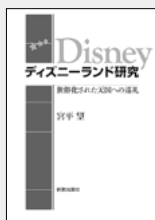
新渡戸・内村の薫陶を受け、伝道を志しつつ、経済学者として優れた業績を上げ、軍国日本と対決して野に退き、戦後は東大総長として再建日本の精神的指導に挺身した無教会キリスト者の生涯を、綿密な調査を基に描きあげた1100枚の大作。

◆A5判・予価8000円

● 1月に出版の本と雑誌

ディズニールランド研究

宮平望著 世俗化された天国への巡礼

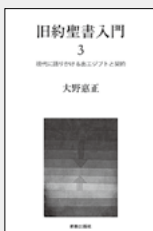


膨大なディズニー文獻を徹底的に踏破し、ディズニーその人の生い立ち、キャリア、信仰・思想から、テーマパークの構造と機能の分析、その宗教性に到るまで、多面的にアプローチする。

◆A5判・本体2000円

旧約聖書入門3

大野恵正著 現代に語りかける出エジプトと契約



この巻では、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記を取り上げ、とりわけ難解とされる律法の解説を通して、イスラエルの民に与えられた契約の意味が鮮明となる。

◆小B6判・本体1900円

福音と世界

2月号 生権力とキリスト教

◆税込635円

寄稿者…箱田徹、清水知子、美馬達哉、大橋由香子、後藤吉彦／大川大地、藤原佐和子、安田真由子／松本あずさ、森宣雄、長谷川修一、岡映里、立岩真也、辻学、山口政隆、内田樹、芦名定道、佐藤優

●年明け早々に、二泊三日の出張に行ってきました。広島・呉から大阪、和歌山までを回るなかなかのハードスケジュールでしたが、そのぶん実りの多い時間だったように思います。呉では、小説家・田中小実昌（一九二五―二〇〇〇）の実家をたずねました。曲がりくねった細い坂道をのぼった先、山の中腹に位置するその建物は、いつけんただの民家のようにみえます。しかしそこはかつて、小実昌の父、田中遵聖がたちあげた独立教会「アメンの友」だったのです。いまはもう使われていないその家屋には、小実昌の直筆の色紙や、遵聖の説教録などが残されていました。

●では、なぜいまそこをたずねたのか。それはわたしの手元に、アメンの友が生んだ一冊の私家本があるからです。写真家の神藏美子さんに教えていただいたその本を、わたしは純粹におもしろいと思いい、多くの人と分かちあう準備を進めています。信仰ということが正直よくわかっていないわたしですが、その本のなかにはなにか「ほんとうのこと」がふくまれているのではないかと思うのです。（堀）

●ここ数日、テレビニュースが10歳の少女の虐待死を頻々と報じていて思わずス

イッチを切りたくなります。この子が短い生涯に味わわねばならなかった痛みと恐怖、孤独と絶望を想像すると、つらくて見ていられません。イエスは、人が犯す罪はどんなものでも赦されるが霊に対する冒瀆は赦されない、と言いました。しかし幼子を祝福したイエスなら、子どもを痛めつけ絶望させる罪も決して赦されない、と付け加えてほしいと思います。家族は、人が最初に愛や信頼を学ぶ場ですが、残念ながら同時に、恐怖や暴力を最初に学ぶ場でもあります。家族は決して楽園ではないし、人が人を支配する原風景ともなりえます。そもそもイエス自身が肉の家族に醒めた見方を持っていた。ミカを引用しながら家族の分裂と敵対を語るとき、その軸は父と息子、母と娘、嫁と姑という世代間の対立関係となつていきます。だからキリスト教会の家族主義は、肉の家族の単なる延長であつてはならないし、そのぼんやりした比喻でもなく、それをいったん切断するところから開始されるのだと思います。「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。だれでも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である」（マタイ12・50）……。子どもが殺されない社会のために。（小林）

福音と世界

2019年
3

A5判・80頁・定価635円・送料70円
年間予約購読料（送料共）8460円

特集・〈核の時代〉はいま

核・原子力の平和利用と軍事利用の境界はない
—— 木村 朗

「グローバルヒバクシャ」という視座—— 高橋博子

この国の原子力緊急事態宣言は、まだ発令中です。—— 片岡輝美

島根原子力発電所をめぐる諸課題—— 和田喜彦
聖公会が寄贈した立教の原子炉—— 相原太郎

2・8独立宣言から100年…… 佐藤信行

『書評』

『磔刑の彼方へ——小田原紀雄社会活動全記録』

宮田光雄「ルターはヒトラーの先駆者だったか」
…… 太田昌国
…… 川田 殖

【好評連載から】

◆福音書記者の饗宴 3 …… 松本あずさ

◆遺跡が語る聖書の世界 3 …… 長谷川修一

◆わたしは口ツグがわからない 6 …… 山口政隆

◆野に咲く民衆の神学 12（最終回） …… 森 宣雄

◆福音の地下水路 17 …… 岡 映里

◆現代神学の冒険 30 …… 芦名定道

◆レヴィナスの時間論 47 …… 内田 樹

◆新約釈義 第一テモテ書 37 …… 辻 学